

産業調査研究会・創発の会・新入会員 合同懇談会を開催

産業調査研究会は例年14グループ合同懇談会を開催している。本年度は創発の会および2023年度からの新入会員まで案内先を拡大し、9月18日、ホテルオークラ東京にて開催した。当日は新浪代表幹事をはじめ200人を超えるメンバーが出席し、各グループメンバーが新入会員へ具体的な活動内容を紹介するなど、会員間の交流が一層深まる楽しいひとときとなった。



親しい会員同士の会話が盛り上がる中、開会挨拶に立った鈴木純担当副代表幹事は、経営者の学び・育成、ネットワーキングの活動の一つである産業調査研究会（以下、産研）について「政策提言活動と並行した活動で、毎月の定例昼食会や有志の会など、知的好奇心を満たす企画を一生懸命作っている。異業種の会員同士が本音で話せることが魅力である」と紹介し、未登録会員に積極的な参加を呼び掛けた。続いて、新浪剛史代表幹事の乾杯挨拶では、産研お試し参加を無料にするキャンペーン開始の案内とともに「産研は会員満足度が最も高い。参加すれば必ず良かったと思っていただけるはず。ぜひ肝胆相照らす仲間をたくさんつくってほしい」と述べた。会中盤では、新入会員対象の創発の会について、経済同友会の活動を詳しく知る機会でもあり、人

脈も広がる貴重な機会であることが紹介され、新入会員が産研や創発の会の

活動を知る貴重な機会となった。

挨拶に立った関係幹部ら



新浪 剛史

代表幹事



鈴木 純

産業調査研究会
担当副代表幹事



内田 士郎

産業調査研究会
代表世話人



吉松 徹郎

創発の会 座長
会員エンゲージメント
委員会 委員長



湯川 智子

産業調査研究会
代表世話人
会員エンゲージメント
委員会 委員長



桜井 伝治

創発の会 座長

●産業調査研究会

会員相互の交流や企業経営者が直面する諸問題に関する情報交換を目的とした会合。現在、約900人のメンバーが14グループに分かれ、昼食会形式での月例会合を開催している。メンバーによる多様なテーマでの話題提供や外部講師による講演、施設見学会など、各グループが自主的に活発な活動を展開する。



月例会の様様

●創発の会

入会2年以内の会員を対象とする会合。経済同友会活動の入り口として、本会の理念や最新の委員会状況を幹部会員から伝え、参加者の識見拡大に寄与するとともに、忌憚のない意見交換を通して相互に啓発し、本会活動全体への積極的な参画へつなげることを目的としている。